

【藤井寺市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

児童生徒一人ひとりの興味・関心・意欲を、ICT機器を効果的に活用することで、個別最適な指導・支援し、学習活動や課題に取り組む学びを提供する。

また、児童生徒同士が学習アプリを活用した意見交換などを通じて、他者と関わることで、相手の意見や立場を理解し共感する能力や、自らとは異なる価値観を尊重し協働する力や自己肯定感を養い、自らで学ぶ力を育成する。

2. GIGA第1期の総括

児童生徒一人一人に端末を整備し、ICT機器を活用した授業や学習活動に取り組んだ。活用の中では、通信障害による問題や端末の予備機が少ないことにより運用面で課題を抱えており、解消には進んでいるがこれからも引き続き改善が必要である。

また、ICTを活用した指導力の学校間や教員間の格差が生まれており、ICT支援員等の力を借りながら更なる技術力の向上を図る必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

授業や家庭学習をはじめ、学校と家庭間の連絡などにはICT機器が必要不可欠であることから、機器の利活用を促進するために機器やシステムの選定や、働き方改革をはじめとした環境の整備を行うためにネットワークの見直しを行うとともに、デジタルドリルや学習アプリを通じて、個別最適で協働的な学びの充実に努める。

(1) 「1人1台端末の積極的活用」

・授業や家庭学習、学校・家庭間の連絡等、様々な場面での1人1台端末活用を進める。また、ICT支援員を継続して配置し、授業でICT機器を活用するサポート体制を構築する。

(2) 「個別最適・協働的な学びの充実」

・端末を利活用した学習課題への取組により、理解度や学習進度に合わせた個別最適な学びを進める。また、「調べる」「発表・表現する」「やりとりする」という授業場面に応じた端末の活用を進め、協働的な学びの充実に努める。

(3) 「学びの保障」

不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等に対して、その実態に応じて端末を活用した支援を実施する。